

売れてる商品

依然好調の大型卓上のり

海苔市場は依然として大型卓上と呼ばれる100枚入り、120枚入りの商品が売れている。先発品の発売から3年が経



過しようとしているが、2ヶタ伸びが続いており新規参入も見られる。全形海苔を10切、12切に裁断して筒形の卓上容

新規参入も続く

「お得感」背景

器に入れた商品だが、RDS全国スーパーの実績（11年9月～12年8月）を見ると、ほぼ2ヶタ増が続いている。今年は新たにニコニコのりが満を持して参入した格好で、先発社に追い付くスタートも見せている。また、売場を見ても通常卓上タイプは上段に並べられるが、イオンなら下段に5～6アイテムも並ぶほど特別待遇だ。つまり売れ筋の称号を勝ち取った証拠。

ヒットの背景には100枚入りや120枚入りなどの「お得感」があり、価格（別表）も298円ラインは全形10枚分と加工度を考えるとメーカー

大型卓上のり単品別売上実績

2011年9月～2012年8月

RDSスーパー
単品ランキング

商品名	売価(円)	前年比(%)
白子 卓上味のり 10切100枚	311.3	135.2
生活派 有明産卓上味のり 100P	286.8	137.6
ニコニコ 味付のり卓上 10切 100枚	280.0	605.5
はごろも 味付のり 卓上 朝からのりのり 100枚	397.7	83.5
関口海苔 卓上味付のり 12切 120枚	297.9	182.9
大森屋 味付卓上 120枚	263.9	185.3
合計	293.2	132.0

採算ではギリギリだ。398円ラインの商品もあるが、若干動きは鈍くなるため500～398円の定番、特売を交えた攻め防が続く。

一方で、同商品以外の動きが鈍いのも事実。用途が重なる束モノなどは大型卓上が売れ始めてから不調。悩みも大きい売れ筋商品となっている。

記事・表中の市場データは流通システム開発センターの業界POS「RDS」を用い、マーチャндаイジング・オンの分析ツール「Piano-POS」で集計・加工した